

協議資料②

第10期浜益区地域協議会（R5.10～R7.9）の総括の検討

1. 会議の状況

令和5年度 第5回～第8回（4回開催 うち書面開催1回）

令和6年度 第1回～第6回（6回開催うち書面開催1回）

令和7年度 第1回～第5回（4月、6月、7月、8月（予定）、9月（予定））

2. 議論されてきた主な内容

①地域自治区振興事業について

継続：区民カレンダー製作事業、浜益区水産物普及プロジェクト

②浜益区地域おこし協力隊の募集（R6年度及びR8年度募集）について

③R5.10.16 諮問「地域の今後のあり方について」の検討

区民説明会（R6.2.1/R6.3.28）実施

④地域協議会に代わる新たな組織の検討（R7.3.24 提言書提出）

⑤浜益の交通事業について

⑥火葬場の統合について

⑦庁舎以北の交通体系について

⑧新たな組織の条例案について

⑨石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について

【参考】第9期からの引継ぎ事項

○地域協議会と支所（行政）、各種団体、小中学校や保育園も含めより一層の連携を深め、多くの地域の声を拾い上げ、幅広い視点と明確なビジョンをもって地域づくりに取り組んでいく。

⇒地域運営組織について先進地事例を聞く勉強会を実施。

○地域協議会は支所（行政）と地域住民、各団体をつなぐ橋渡し役として、情報収集、意見交換、情報共有、情報発信に努め、地域住民の声を活かしたより良いまちづくりを目指して積極的に取り組んでいく。

○浜益地域づくり基金について、継続事業についてはより一層の工夫を、新規事業については、既存の発想に捉われず、浜益に必要なより良い何かを発掘し、また、浜益の新しい観光まちづくりを進めるため、区民や各団体との連携を深め、計画的に事業を進めていく。

⇒継続2事業について、勉強会を開催、見直しを進めている。

○区内産業、福祉施設等の担い手不足の課題解消のため、移住・定住に関する取り組みを、スピード感をもって実施していく必要がある。

⇒交通ミッションの地域おこし協力隊を2名採用。

○地域の活性化やこれからのまちづくりの推進のため、「地域おこし協力隊」のさらなる導入、活用や「集落支援員」の増員により客観的な視点を取り入れ、区民や移住者が心豊かに安心して暮らせるまちづくりが必要である。

⇒地域おこし協力隊の募集要項について、勉強会を開催、内容を検討した。

○地域協議会委員が、楽しくやりがいを持って様々な意見を気軽に、積極的に発言できる環境と住民の声を届けられる環境であることが望まれる。

⇒意見を言いやすい雰囲気づくりを行い、協議会の最後には情報共有の時間を設けた。

○地域協議会の会議において、様々な手法を取り入れ気軽に発言できる環境づくりが必要である。⇒いっぺかだれやの会に繋がった。

これらを踏まえて、

・第10期のふりかえりについて、ご意見をいただきたいと思えます。

ご意見をいただきたい内容

- ・ 第 10 期地域協議会委員としてのふりかえり
- ・ 今後の浜益の地域づくりを進めるためには何が必要か
- ・ 第 11 期地域協議会に求めること（任期：R7.10.1～R8.3.31）
- ・ 来年度以降以降の地域自治区振興事業について
- ・ 地域協議会に代わる組織に求めること
- ・ その他